

二十歳を祝う会



1月7日(日)砺波市文化会館での「二十歳の式典」後、庄川生涯学習センターにおいて青島と合同で「二十歳を祝う会」が開催されました。東山見地区は17名が出席され近況とお題(庄川町の好きな所、中学校の思い出、庄川に住む予定か、親に一言、将来の夢)にもとづくスピーチがありました。



東山見

広報

第58号

令和6年2月発行
東山見公民館
TEL 82-5471
FAX 82-3180

人口	男	818人
	女	913人
	合計	1,731人
世帯数		662戸

(令和6年1月5日現在)

「ひがしやまみブログ」でも見られます

二十歳を祝う会



- (順不同)
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 森田 | 古野 | 舟戸 | 藤田 | 中村 | 金井 | 梅崎 | 上田 | 東山 | 山橋 | 藤田 | 東山 | 高藤 | 齋藤 | 齊藤 | 小西 | 金井 | 金井 | 織田 | 石橋 | 石黒 | 天野 |
| 真如 | 集大 | 峻快 | 郁雅 | 希奈 | 颯希 | 乃助 | 千空 | 千歩 | 大輝 | 乃佳 | 太郎 | 遼征 | 充希 | 那桜 | 達也 | 大幸 | 大宙 | 亜紗 | 有颯 | 加渚 | |

東山見地区
二十歳の
みなさん

庄川水まつり

10月29日(水)記念公園で、38回目を迎える庄川水まつりを開催致しました。

一時的には雨が降ったものの気持ちの良い秋晴れの中、無事開催することができました。

今回は、より庄川の水に親しんでもらおうと、サップや水上ピクニックなどのアクティビティを充実させ、よりお客さんに水と触れ合ってもらいました。

また、今回はオリジナルミニ四駆も限定販売し、県外からも多くの方がご来場され、水まつりを知ってもらおうキッカケとなりました。



水まつり限定モデル



ミニ四駆 タイムトライアル



サップと水上ピクニック



庄川水まつり

第36回 庄川ゆずまつり



11月11日と12

日(土日)庄川水記念公園で「第36回庄川ゆずまつり」が開催されました。今年も豊作で、新鮮な生ゆずをもとめて市内外より大勢の人が来場されました。



会場内では「ゆずもち」や「ゆずみそ」などのゆず加工品や特産品も販売、今回からはうどん、そばなどの飲食ブースも再開され、ゆずに囲まれた大賑いの2日間でした。



姉妹交流都市の北海道むかわ町も出店し、旬の野菜や恐竜グッズなどを販売されました。



感謝のバーベキュー

(青山ここにクラブ)

快晴の12月9日(土)青山にここにクラブのバーベキューを旧フルーツ村資材倉庫で開催しました。



青山にここにクラブ バーベキュー

鳥獣被害防止と環境保全、そして、安心・安全な街づくりを目標にして5年目、これまでボランティアで約百名の方々に携わって頂き、今日を迎えることができたことに感謝を込め、全員にお声がけをし、19名が集まりました。

バーベキューは、残念ながらイノシシ肉が確保できず、牛・豚・鶏肉にウインナーや野菜、鍋(いも煮)等豊富にあり、雨池代表のビールでの乾杯でにぎやかに始まりました。肉や野菜はドラム缶を切ったコンロの上でどんどん焼かれ、アルコールも入り和気あいあいと盛況なうちに終了しました。

今回は未定ですが、冬季の一番おいしいイノシシ肉のバーベキューが宿題となりました。皆さんのご協力があったからこそ青山にここにクラブです、春になれば作業再開しますのでよろしくお願ひします。



秋の歩こう会

11月3日(金)文化の日、東山見体育振興会・公民館による秋の歩こう会がありました。



秋の歩こう会

今回は近場の金屋周辺を歩きました。庄川ふれあいプラザ前で集合し、庄川の川沿いを上流に向かい水記念公園の遊歩道を通って小川原八幡宮へ、それから庄川大仏から東山見保育所跡を通って庄川ふれあいプラザに戻るコースです。「舟戸公園クイズ板のもんだい」で盛り上がりました。



小川原八幡宮焼失

12月7日(木)午前1時50分頃出火の通報があり、消防車14台が駆けつけ午前3時過ぎに鎮火。

永年地域住民が維持管理してきた創建八百有余年といわれる心の拠り所の八幡宮が放火で焼失し無念な思いです。

近隣に類焼しなかったことやご神体が修復可能であったことが不幸中の幸いでした。



小川原八幡宮焼失



《近隣住人より》

就寝中の午前2時前、玄関越しに大声で呼ばれ、戸を開けると「神社が火事、すぐ避難して」と消防団から指示され、慌ててカバン(サイフ免許証入)とデジタルカメラを持って妻と共に家を出た。

既に数台の消防車が放水を始めており、本殿の炎は真直ぐ上り、取り囲む杉木の樹皮や枝に火が付き、弱い南風に乗った火の粉が北側の民家に向かっていったが、次々駆け付けた多数の消防車の放水で、午前2時25分ころには本殿の炎は消えたものの周りの木々は燃えており、類焼を防ぐための放水が続けられていた。

今振り返ると、無風であったことや通報が早く、消火栓等の水利が確保されていて速やかな消火活動が行われたことが幸いしており、消防関係者の方々には感謝です。

もし風向が変化していたらと思うと今更ながら恐怖で体が震える出来事でした。

ぎふ清流里山公園に 行ってききました



バスの旅

11月6日(月)庄川町は早朝から強い風が吹いていました。参加者20名を乗せて出発して予定通りに目的地に到着しました。

広い公園内で散策コース・乗馬体験・昭和館・ゴーカート乗車等を楽しみ各自で昼食を済ませて大浴場で入浴した後、帰路に着きました。

「庄川町水公園が改修整備されるけど同様な施設があれば良いと思います」との感想の声がありました。



三門松づくり講習会



門松づくり

12月23日(土)ふれあいプラザにおいて門松づくりの講習会が行われました。年末の慌ただしい時期ですが、18名の方の参加がありました。

公民館長の挨拶の後、各自、竹の胴に巻くしめ縄を編み、長短の竹を揃え、松、梅、南天、飾り物を組み合わせて、あれこれ試行錯誤。

竹のつややかさ、松葉の茂り、南天や飾り物の色の華やかさ、それぞれが、縁起のいい正月を感じさせます。少し飾っては離れて眺め、手直しをし、熱気あるうちに門松が仕上がりました。

来る年がよい年でありますように、皆さんの心が一つになった楽しい講習会でした。



編集後記

元日の夕方4時10分にマグニチュード7.6最大震度7の能登半島地震発生。亡くなられた方や不明者、ライフラインの停止による避難生活者が多数発生しており、激甚災害の指定になりました。

砺波市では震度5弱とこれまでにない大きな揺れを感じました。被災された方々の悲惨さを見ると巨大地震の怖さの思い知らされ、また昨年12月には小川原八幡宮の火災でも恐怖を感じたところでした。

一方、1月2日羽田空港で起きた海上保安機との衝突事故では日本航空機内379名全員の脱出がわずか18分ででき、乗務員の日頃の訓練の成果だと称賛されています。

立て続けに起きる事故・災害の教訓は、より一層の防災対策を進めると共に、防災意識向上の大切さをあらためて感じさせます。

(う)

